

令和3年度千葉県リハビリテーション支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
病院名	千葉県千葉リハビリテーションセンター
重点活動項目	<p>県下の関係機関のつながりの醸成を図り、今後の時代に求められる地域リハビリテーション展開を検討・実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域リハ関係施設・機関同士の意見交換会の開催等を通じて、心身機能に関わるリハビリテーションを受けられる機会の創出に寄与すること ・ 市町村や関係団体への協力を通じて、県民の「自分らしい暮らし」が継続できるよう、物理的・社会的環境の機会均等に寄与すること

1 広域支援センター支援（機能・役割：実施要綱第2の2ア・イ）

ア 担当者会議・研修会等

（社会情勢に応じて、開催時期・インターネット利用での開催方法等を検討）

- ①千葉県地域リハ広域支援センター担当者連絡会議の開催（R3.6月、R4.3月予定）
- ②千葉県地域リハ広域支援センターとの実務者意見交換会の開催（年4回を目安）
 - ・ ちば地域リハ・パートナーの活用の検討
 - ・ 各圏域での地域診断実践に向けた検討
 - ・ 本事業における千葉県下への支援方針の検討
 - ・ 地域リハビリテーションの効果指標の検討、等
- ③地域リハビリテーション関係機関の情報共有のためのメーリングリストの検討・整理
- ④県内の地域リハに関わる会議等へ出席や事業協力、等

イ その他の支援

- ・ 広域支援センターへの相談対応

2 関係機関従事者の人材育成・情報共有等（同エ・オ・キ）

（社会情勢に応じて、開催時期・インターネット利用での開催方法等を検討）

- ①各広域支援センター連絡協議会への参加及び事業協力
- ②県内地域リハ関係事業への講師派遣
- ③地域リハビリテーション調整者養成研修の実施
- ④災害時に備えた地域リハ支援体制の整備
 - ・ 千葉 JRAT 事務局機能の充実
 - ・ 発災時の人員派遣体制の構築
 - ・ 研修など人材育成に係る体制整備
 - ・ 県主催の防災訓練への参加、等

3 普及・啓発（同力）

（社会情勢に応じて、開催時期・インターネット利用での開催方法等を検討）

①千葉県全域を対象とした意見交換会の開催

- ・オンラインを活用し、二次保健医療圏域を超えた地域リハ関係機関、関係者間のつながりづくり

②第15回千葉県地域リハビリテーションフォーラムの開催

- ・令和4年1月予定

③県内外のリハ資源に関する情報収集

④ホームページ、メーリングリストの整備・更新

⑤障害者の社会的な理解向上に向けた啓発活動の検討

⑥その他

4 その他（同ウ他）

- ・他の府県リハビリテーション支援センターとの意見交換、協働の検討

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
圏域	千葉 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	医療法人社団 淳英会 おゆみの中央病院
重点活動項目	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療機関及び介護施設、ちば地域リハ・パートナーとの協働を通し、地域の通いの場との連携、住民主体介護予防の活性化、課題解決に向けた取り組みを行う ○COVID-19に対する感染対策の下、状況に応じた活動が継続できるよう新たな地域連携・地域リハビリテーション支援を検討する ○リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援 ○障がい者スポーツ普及（ボッチャ）

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉地域リハビリテーション連絡協議会（年1回予定） 対象：医療介護福祉関連の職能団体、関係行政各課、地域包括支援センターなど 内容：当センターの今年度の取り組みについて With コロナ時代の地域活動について意見交換 等 <p>イ その他の会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちば地域リハ・パートナー会議（年2回予定） 対象：ちば地域リハ・パートナー、関係行政各課、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター 等 内容：当センターの今年度の取り組みについて 今年度の千葉市地域リハビリテーション活動支援事業について With コロナ時代の地域活動について意見交換 等 ・（仮称）千葉市リハビリテーション連絡会（年1回予定） 対象：千葉市内PT、OT、ST、関係者 等 内容：顔の見える関係作り、情報共有、研修開催、イベントへのコミット 等 ・千葉市回りハ有志の会（年2回予定） 対象：千葉市内回復期リハビリテーション病棟従事者 等 内容：院内感染事例の共有、With コロナ時代の病棟運営、退院支援等について意見交換 ・その他、会議等の参加 月2回、4時間（会場までの往復含む）を想定

② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

- ・千葉市地域リハビリテーション活動支援事業への専門職派遣調整

対象：地域包括支援センターが関わる地域の通いの場

内容：千葉市の委託事業として当広域支援センターが専門職の派遣調整、支払い業務等を一貫して行う

- ・地域ケア会議及び多職種連携会議におけるリハビリ専門職派遣調整

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

相談支援件数の増加を図るため、地域包括支援センター等の関係部署に広報を行う

メール（専用アドレス）、電話（専用回線）等による相談に随時対応し、必要に応じて各区の関係機関へ繋ぐ

④ 研修等の実施を通じた協働促進

- ・千葉県理学療法士会千葉ブロック主催研修等の後援

- ・他団体の研修等の後援、広報、オンライン支援等

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧いずれかを記入

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑥) 内容：地域からの依頼に応じて、医療・介護専門職の派遣調整を行う。With コロナ、Post コロナの時代には ICT は必須となるため、地域高齢者の ICT 支援の取り組みについて検討する。

(⑦) 内容：障がい者スポーツの普及

昨年度はコロナ禍で出張ポッチャ体験教室の依頼が少なく、YouTube で普及動画を配信、広報したが視聴回数を伸ばすことができなかった。今年度は感染対策を行いながら、対面での体験教室をベースに普及を図ると同時に、市内の各区1箇所、通いの場としてのポッチャ教室の立ち上げ支援を検討する。

(⑧) 内容：地域リハビリテーション出前講座

対象：千葉市内の小学校に通う5年生

内容：車椅子体験 等

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和3年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
圏域	東葛南部 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	新八千代病院
重点活動項目	<ul style="list-style-type: none">・地域包括ケア推進に向けて医療機関、福祉関係機関、行政機関、職能団体、各市の地域リハビリ協議団体との連携・協力体制を強化する。オンラインシステムを利用した意見交換会、勉強会等の提案・協力を行う・地域リハビリテーションに関係するインフォーマルサービスに対する情報収集を行い、広域支援センターとして必要な支援・協力を行う。・在宅医療・介護における支援困難事例に関わる機関への協力支援

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築
ア 連絡協議会 年1回開催 (R4.1月) 参集範囲：医療・介護機関、圏域内市町村、地域リハビリ協議体
イ その他の会議
<ul style="list-style-type: none">・ちば地域リハ・パートナー会議の開催 (年1回) 概要説明、各パートナーが可能な支援についての意見交換等・ちば地域リハ・パートナー会議分科会 (市単位)・地域リハビリテーション協議会 (千葉県主催) の参加・地域リハビリテーション担当者連絡会議の参加 (県支援センター主催)・地域リハビリテーション担当者意見交換会の参加 (県支援センター主催)・各種地域リハビリテーション協議体主催会議の参加・協力・東葛南部圏域地域リハビリテーション広域支援センター会議 (年12回)
②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力
1) 市川市への事業協力
<ul style="list-style-type: none">①市川市担当課との連携・協力②市川市リハビリテーション協議会との連携・協力
2) 習志野市への事業協力
<ul style="list-style-type: none">①習志野市担当課との連携・協力②習志野市リハビリテーション協議会との連携・協力

3) 船橋市への事業協力

- ①船橋市担当課との連携・協力
- ②船橋市地域リハビリテーション拠点事業との連携・協力

4) 八千代市への事業協力

- ①八千代市担当課との連携・協力
- ②八千代市在宅医療・介護連携支援センターとの連携・協力
- ③八千代市リハビリテーション協議会との連携・協力

5) 鎌ヶ谷市への事業協力

- ①鎌ヶ谷市担当課との連携・協力
- ②鎌ヶ谷市地域リハビリ活動支援事業実施機関との連携・協力

6) 浦安市への事業協力

- ①浦安市担当課との連携・協力
- ②浦安市リハビリテーション連絡会との連携・協力

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ・介護施設及びリハビリ職不在の医療機関に対する助言・実地指導
対象：圏域内介護施設、医療機関
- ・ケアマネジャー・地域包括支援センターに対する相談支援
- ・圏域内保健所・保健センターとの相談支援
- ・歯科医師会との医科歯科連携事業の支援
- ・地域リハビリテーション出前講座
- ・小学生・中学生の職場体験受入
- ・相談窓口の設置（随時受付、適宜地域リハ・パートナーにつなげる）

④研修等の実施を通じた協働促進

- ・地域リハビリに関わる研修会の開催（年1～2回）
対象：地域リハビリ協議体、ちば地域リハ・パートナー、行政担当課、
地域リハビリに関わる医療・介護職
- ・八千代市医師会脳卒中地域連携講演会（R3.9月上旬）
題目：未定
講師/座長：未定（八千代市医師会より選出）
対象：医療・介護機関対象
- ・東葛南部圏域認知症セミナーの協力（年2回）
対象：一般市民対象
内容：認知症について
- ・在宅摂食嚥下リハビリ研究会（全11回/年）
対象：在宅摂食嚥下診療に関わる職種対象
内容：在宅での摂食嚥下診療に関する事例検討会
- ・地域リハビリに関連する団体が主催する研修会開催の協力
- ・(再掲) 地域リハビリテーション出前講座、小学生・中学生の職場体験受入

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧
いずれか
を記入
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容 :

- ・ (再掲) 地域リハビリ関連協議体に対する運営協力
 - ・ 地域リハビリに関連する団体が主催する研修会
 - ・ 協議会の開催支援・地域リハビリに関連する団体同士の意見交換会

(⑧) 内容 :

- ・ 地域リハビリに関連する団体への連携促進・関係強化の取組みおよびオンライン資源の提供
- ・ 災害等に関する取組み
- ・ 在宅医療・介護における支援困難事例に関わる機関への協力支援

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和3年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
圏域	東葛北部 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	旭神経内科リハビリテーション病院
重点活動項目	住民の健康増進・介護予防等の取組支援を行うべく、 地域リハビリボランティアの育成と活用を行っていく 地域リハ・パートナーとの共働を実践する

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業

①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築

ア 連絡協議会

・1回目

日時：R3. 7. 16 14時～

場所：WEB開催

対象：各市担当者、地域包括支援センター、リハ・パートナー

内容：コロナ禍の介護予防・認知症予防におけるリハビリ職の役割について
(認知症疾患医療センターと共催)

・2回目

日時：R4. 2月頃

場所：WEB開催

対象：各市担当者、地域包括支援センター、リハ・パートナー、当事者

内容：高次脳機能障害を有する方の支援について
(高次脳機能障害支援拠点機関と共催)

イ その他の会議

ちば地域リハ・パートナー会議

・1回目

日時：未定 (R4. 2月頃予定)

場所：WEB開催

対象：東葛北部圏域のちば地域リハ・パートナー施設担当者

内容：今年度の実績報告、情報提供、意見交換

②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

各市役所・地域包括支援センターと地域リハ・パートナー協業のコーディネート

・東葛北部圏域の各市役所・地域包括支援センターと地域リハ・パートナーの意見交換会を実施し、介護予防の体操教室などへのアドバイス、体操教室へのスタッフ派遣などの協業体制のコーディネートを行う。

- ・地域包括支援センター健康度測定協力（随時）
- ・松戸市認知症初期集中支援チーム、地域ケア会議派遣に資する研修（松戸市公認）
主催：松戸市リハビリテーション連絡会
内容：「事例検討」（認知症初期集中支援チームチーム員会議形式）
日時：R3.10月頃
- ・オンライン通いの場実施の検討
地域包括主催の介護予防教室のオンライン配信を試行し、オンライン通いの場の実現へ向けた調整を行う。
- ・集団リハビリの効果の周知
介護予防・認知症予防教室での集団活動の効果について、前記連絡協議会やリハパートナー会議にて周知を図る

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ・研修会を利用したリハビリに関する相談支援
研修会事前アンケートにて相談内容を把握
研修会での質疑応答対応および相談内容へのフォローアップ
- ・情報共有システムの共有
ちば地域リハ・パートナー向け研修会などの情報発信
- ・地域ボランティアからのリハビリ相談窓口調整
地域ボランティアとちば地域リハ・パートナーとのマッチングを行いリハビリ相談をしやすい環境の構築を目指す

④研修等の実施を通じた協働促進

研修会

- ・地域の医療機関、リハビリ施設や関係機関の職員等を対象として、リハビリに関する知識及び技術向上と施設内での共有を行うリーダーの育成、関連機関同士の連携の充実等を目的とした研修会、講演会を開催する
- ・研修参加者にオンラインシステムの扱いに慣れるための場を提供するため、同内容のオンライン研修も開催する

生活リハビリ普及員

- ・昨年度までに養成研修を終えた地域リハビリボランティア（「生活リハビリ普及員」）に対して、フォローアップ研修を行ない、継続して地域リハビリボランティアとして活躍できるよう育成を行っていく。

・本研修を地域リハ・パートナーも所属の市で行えるよう本研修への参加依頼を行っていく。

日程 内容

1 R3年7月 下肢・体幹の筋力トレーニング

2 R3年9月 上肢の筋力トレーニング

3 R3年11月 口腔体操

*上記3つの研修をオンライン、集合各1回実施予定。

高次脳機能障害を有する方への支援（ボランティア）

・高次脳機能障害を有する方への支援を行っているリハ・パートナー施設と協力し、オンラインシステムを用いたボランティア養成法（講義と実技指導）および高次脳機能障害を有する方へのオンライン支援の可能性を検討する。

（高次脳機能障害支援拠点機関と共催）

期間：R3.7月～R4.3月（月1回程度）

場所：彩会 まんてん（当院とオンライン通信）

内容：高次脳機能障害に関するミニ講義、レクリエーション、事例検討など

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧
いずれかを記入し
⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（ ⑤ ） 内容：

- ・（再掲）「生活リハビリ普及員」「高次脳機能障害を有する方への支援（ボランティア）」研修会のオンライン化検討
- ・（再掲）オンライン通いの場の実施検討

（ ⑥ ） 内容：

- ・（再掲）各市役所・地域包括支援センターとリハ・パートナー協業のコーディネート
- ・松戸市通所型元気応援くらの希望グループへの健康度測定（リハ・パートナーとの協業）

日時：R3.9、R4.3（予定）

対象：小金原6-7元気くらぶ

げんきかい？

いってみよう・やってみよう会

場所：上記各くらぶ活動実施会場

- ・介護予防・認知症予防教室支援（松戸市小松園自治会・栗ヶ沢自治会）

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

事業実施期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日
圏域	印旛 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	成田リハビリテーション病院
重点活動項目	<p>○圏域内7市2町・関係機関との事業協力強化</p> <p>・健康増進・介護予防の取組支援（研修会、従事者協働促進、相談支援）</p> <p>・リハ・パートナー施設の連携・活動充実</p> <p>○各市町での(仮称)療法士連絡会の設立</p>

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
<p>① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築</p> <p>ア 連絡協議会 参集範囲；圏域内市町、地域包括支援センター、など 印旛地域広域支援センター連絡協議会の継続 議題；広域支援センター事業計画、ちば地域リハ・パートナー会議からの提議事項 圏域内のリハビリテーション資源についての情報交換 開催頻度；年1回を予定</p> <p>イ その他の会議</p> <p>(1) ちば地域リハ・パートナー会議 参集範囲；圏域内 ちば地域リハ・パートナー 内容；概要説明、各パートナーが可能な支援についての意見交換(近隣市町別) 開催回数；年1～2回</p> <p>(2) 各市町での在宅リハビリテーションに関わる療法士、介護予防に関わる療法士連絡会の設置 参集範囲；職能団体や千葉POS、地区勉強会などの集いに参加している療法士 内容；ちば地域リハ・パートナー勧誘と地域リハに関わる課題の抽出</p> <p>(3) 地域包括支援センター職員とリハ職との意見交換会 参集範囲；地域包括支援センター職員と在宅リハビリテーションに関わる療法士 内容；名刺交換会と地域見える化システムを通じた公表数値の情報提供と共有 開催回数；各市町の行政担当部署の協力を得て、開催を計画</p>
<p>② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域リハに関わる地域の情報収集・ニーズ把握ニーズを把握するため各市町担当課を訪問、アンケート・ヒアリング実施 ・市町村事業・会議へ積極的に参加し、活動寄与する(ちば地域リハ・パートナーの協力も得ながら進める)

- ・地域包括支援センター依頼の介護予防事業の協力（講師派遣、調整協力）
- ・介護予防事業への PT・OT・ST 等の派遣
- ・地域ケア会議等への PT・OT・ST 等の派遣（意見交換）

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ・相談窓口の設置 随時電話・メール相談
- ・療法士コミュニティの紹介
- ・リハ・パートナーの協力を得て、活動支援・相談支援を推進

④ 研修等の実施を通じた協働促進

- ・各種研修会・講演会開催（医療・介護職、一般市民向けに専門的または一般的なテーマで実施）。講演会は年2回開催を予定。
- ・（再掲）地域包括支援センター職員とリハ職との意見交換会

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧い
ずれかを
記入
↓

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

（⑤）内容：域内大学リハ関係分野との交流深め、専門的見地に基づく地域診断を行い、具体的なリハ資源提供方法を研究

（⑥）内容：（再掲）地域包括支援センター依頼の介護予防事業の協力（講師派遣、調整協力）、実際の活動主体の NPO 団体等への協力も行う。

- ・一般住民向けの健康増進・介護予防等のパンフレット作製

（⑦）内容：・災害時のリハビリテーションネットワークの構築に向けて関連団体との連携を図る

（⑧）内容：（再掲）医療に加えて、各市町での在宅リハビリテーションに関わる療法士や介護予防に関わる療法士連絡会の設置

- ・広域支援センター紹介リーフレットの作成

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和3年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
圏域	香取海匝 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	地方独立行政法人 総合病院 国保 旭中央病院
重点活動項目	① 地域ケア個別会議運営相談、専門職意見交換会 ② 圏域内リハビリテーション資源の再調査・情報公開

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 ・年1回開催(3月) 参集範囲：圏域内地域包括支援センター、保健所、地域リハ・パートナー他 イ その他の会議 ・香取海匝圏域 地域リハ・パートナー会議 年2回(6月、3月) ・生活期リハ支援班会議 年2回 ・地域ネットワーク支援班 会議 年6回
②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 ・一般介護予防事業への支援 介護予防サポーター養成講座講師派遣 住民主体の通いの場支援 ・地域ケア個別会議への専門職派遣 等
③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援 ・リハビリテーションに関する相談対応 ・講師派遣(研修会・相談支援等)
④研修等の実施を通じた協働促進 ・リハビリテーション講演会：12月頃 ・生活期リハ研修会 年2回(9月、1月) ・地域ケア会議助言者向け意見交換会
2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業
⑤～⑧ いずれかを記入 ⑤地域診断と圏域の課題分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組
(⑤) 内容： ・「障害者交流会 和希楽会」運営支援

- ・令和3年度和希楽会全体集会：10月24日
会場：銚子市
内容：パラスポーツ体験
地域の障がい者団体・サークル紹介
- ・和希楽会ニュース発行（年2回）：第22号（9月）、第23号（3月）
- ・マッチング活動
（散歩、釣り、公園散歩、障がい者ゴルフ、オンライン交流会）
- ・他団体イベントへの参加

（⑥）内容：

- ・旭中央病院祭りへのブース出展（体力測定・介護予防の取り組み紹介）
- ・地域住民を対象とした出前講座への講師派遣

（⑧）内容：

- ・圏域内リハビリテーション資源調査
- ・広報活動（HP）
- ・地域リハビリテーション出前講座への講師派遣（小学生対象）
- ・各種会議・研修会等への参加

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和3年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
圏域	山武長生夷隅 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	九十九里病院
重点活動項目	① 圏域内17市町村等との顔の見えるネットワーク強化 ② ちば地域リハ・パートナーとの協働促進 ③ オンライン活用促進

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 参集範囲：圏域内医師会・歯科医師会・市町村・高齢協・老健協会・ヘルパー協会・訪看協会・中核地域生活支援センター・保健所、県庁、県リハ、ちば地域リハ・パートナー 議題：令和2年度山長夷地域リハ広域支援センター活動報告、令和3年度事業計画・経過報告等 開催回数：年2回（第1回：令和3年7月、第2回：令和4年2月） イ その他の会議 ● ちば地域リハ・パートナー会議 参集範囲：ちば地域リハ・パートナー 内容：意見交換会 開催回数：年12回
② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 ● 地域リハビリテーション活動支援事業等 【住民運営の通いの場】 ・横芝光町：きらり若返り運動での体力測定・結果返却（8回/年） ・九十九里町：よったいよでの体力測定（3回/年）・普及啓発活動参加（5月1日開催予定） その他、要請に応じて対応 【地域ケア会議】 ・横芝光町：助言者（1回/月） ・白子町：助言者（3回/年） ・山武市：助言者（3回/年） ・茂原市：オブザーバー（1回/月） ・九十九里町：オブザーバー等（3回/年） その他、要請に応じて対応 ● その他一般介護予防等 ・山武市：しおさいプロジェクト （キックオフセミナー講演：6月開催予定、体力測定・個別相談：6回/年）

- ・長南町：介護予防教室での講演（2回/年）
 - ・白子町：ボランティア養成講座での講演（5月14日開催予定）
- その他、要請に応じて対応

③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- 東金市：1歳半健診での発達相談（10回/年）
- 随時、電話等での相談を受け付け対応

④ 研修等の実施を通じた協働促進

● 意見交換会

参集範囲：市町村、地域包括支援センター、ちば地域リハ・パートナー

内容：ちば地域リハ・パートナー会議にて検討

開催回数：1～2回/年

● 市民公開講座

参集範囲：地域住民等

内容：ちば地域リハ・パートナー会議にて検討

開催回数：1～2回/年

● 専門職向け研修会

参集範囲：圏域内専門職

内容：ちば地域リハ・パートナー会議にて検討

開催回数：1～2回/年

オンライン開催を含め、地域住民への普及促進もはかる

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- | | | |
|-----------------|---|--|
| ⑤～⑧いずれかを記入
↓ | { | <ul style="list-style-type: none"> ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施 ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援 ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築 ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組 |
|-----------------|---|--|

（ ⑤ ） 内容：

- 挨拶まわり若くはアンケート調査（4～6月）
 - 地域住民の声に耳を傾け情報収集（随時）
- 地域ケア会議、意見交換会での地域課題把握（会議出席、開催時）

（ ⑥ ） 内容：

- 山武市：自主グループでの講演（6月16日、8月4日、令和4年2月14日開催予定）
 - 横芝光町社会福祉協議会：介護予防の基礎知識について講演（1回/年）
- その他、要請に応じて対応

（ ⑦ ） 内容：

- 出前講座（開催回数未定）
 - 「再掲」白子町：ボランティア養成講座での講演（5月14日開催予定）
 - 長生郡市サービス事業者協議会研修会での講演（1回/年）
- その他、要請に応じて対応

（ ⑧ ） 内容：

- 山武がつながるネットワークの会議・研修への参加（1回/月）
 - 地域リハビリテーション関連研修、会議への参加（随時）
- その他、要請に応じて対応

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和3年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
圏域	安房 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
重点活動項目	・地域リハ資源の調査・情報発信 ・医療・介護従事者等へのオンラインを活用した学習機会の提供 ・COVID-19の影響が軽減した時点での取り組みに対する検討・準備

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業

①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築

ア 連絡協議会

目的) 広域の活動の理解促進、協力依頼。広域支援センターへのニーズ収集。
参加対象) 市町村職員、地域の専門職、セラピスト等
内容) 広域支援センターの活動報告、活動計画

イ その他の会議

- 1) 地域リハ・パートナー会議
目的) 広域支援センターからの情報提供、パートナーからのニーズ把握
参加対象) 地域リハ・パートナー、広域支援センター職員
- 2) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の企画会議
計画) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催に向けて地域の方々協力して企画・当日運営を図っていく。
- 3) 広域支援センター内の職員の運営会議
計画) 定期的に会議を開催し、地域リハ広域支援センターの活動行っていく。

②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力

- ②-I) 介護予防活動への支援
目標) 協力依頼市町村との調整。企画作成や講師を派遣。
- ②-II) 地域づくりのイベントへの協力
目標) イベントの主旨等を踏まえ企画。地域リハに関する情報発信を行う
- ②-III) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催
目標) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭を開催し、地域の交流・情報共有の場の場を提供し、地域作りに貢献する。
計画) オンラインでの開催を模索していく

③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援

- ③-I) 出張講習会
目標) 地域の事業所や機関からの依頼に合わせて、研修会を開催。
計画) 今年度は積極募集は行わない。
- ③-II) 広域支援センターの活動の情報発信
目標) 広域支援センターの活動の取り組み情報発信を行う
- ②-III) 地域づくりのイベントへの協力(再掲)
目標) イベントの主旨等を踏まえ企画。地域リハに関する情報発信を行う
- ③-IV) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催(再掲)
目標) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭を開催し、地域の交流・情報共有の場の場を提供し、地域作りに貢献する。
計画) オンラインでの開催を模索していく

④研修等の実施を通じた協働促進

- ④-I) 出張講習会(再掲)
 - 目 標) 地域の事業所や機関からの依頼に合わせて、研修会を開催。
 - 計 画) 今年度は積極募集は行わない。
- ④-II) オンラインを活用しての研修会
 - 目 標) 地域の実情やニーズ、最新情報などを鑑みながら、テーマを設定し企画。
- ④-III) 地域づくりのイベントへの協力(再掲)
 - 目 標) イベントの主旨等を踏まえ企画。地域リハに関する情報発信を行う
- ④-IV) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭の開催(再掲)
 - 目 標) 南房総リハビリテーション・ケア文化祭を開催し、地域の交流・情報共有の場の場を提供し、地域作りに貢献する。
 - 計 画) オンラインでの開催を模索していく

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

- ⑤～⑧
いずれか
を記入し
- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
 - ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
 - ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
 - ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑥) 内容：インクルージョンを推進する為、一般住民や障害者等の集い場の構築。

- ⑥-I) 広域支援センターの案内パンフレット活用しての啓発
 - 計 画) 市町村、社協、教育、企業等への説明を実施。当事業の活用促進。
- ⑥-II) 教育分野への支援
 - 1) リハビリテーション体験学習(出前講座)
 - 目 標) 障害者の体験と講義を通じて、障害者観を育成
 - 計 画) 市町村や教育委員会等に出向いての利用促進
 - 2) オリパラ教育への協力
 - 目 標) パラリンピックの競技やパラアスリートの姿から学ぶ機会を提供
 - 計 画) 依頼された学校にて、パラリンピックの競技体験と講義を提供
- ⑥-III) 地域資源の拡大
 - 1) パラ・スポーツの体験、普及促進
 - 目 標) パラ・スポーツ体験する機会を増やす。地域に根付く事を促進。
 - 計 画) 状況を鑑みながら、実施を模索していく
 - 2) リハビリ測定会
 - 目 標) 障害者等が能力維持・向上に主体的に取り組む目標となる測定会を開催
 - 計 画) 対面での開催に向けて検討を進めていく
 - 3) 集いの会(患者会)
 - 目 標) 一般住民や障害者などが集まり、活動する場の構築を模索
 - 計 画) 対面での開催に向けて検討を進めていく
- ⑥-IV) オンラインを活用しての研修会(再掲)
 - 計 画) 地域の実情やニーズ、最新情報などを鑑みながら、テーマを設定し企画。

(⑧) 内容：COVID-19の影響が軽減した時点での取り組みに対する検討・準備

- ⑧-I) 対面での開催に向けた企画の検討
 - 1) リハビリ測定会(再掲)
 - 目 標) 障害者等が能力維持・向上に主体的に取り組む目標となる測定会を開催
 - 計 画) 対面での開催に向けて検討を進めていく
 - 2) 集いの会(患者会)(再掲)
 - 目 標) 一般住民や障害者などが集まり、活動する場の構築を模索
 - 計 画) 対面での開催に向けて検討を進めていく
- ⑧-II) 広域支援センター内の資源強化
 - 目 標) 提供内容の向上や新たな企画や研修のために研修等へ派遣していく
- ⑧-III) 地域状況に鑑みての研修の検討
 - 目 標) 地域の状況に合わせて、研修会等を企画開催する。

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和3年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
圏域	君津 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	国保直営総合病院 君津中央病院
重点活動項目	・地域リハビリテーション活動に携わる人員の支援 ・地域リハビリテーションネットワークの充実

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
①連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 開催回数：年2回開催予定 実施方法：書面開催 参集団体：構成4市の高齢者福祉課・介護福祉課および社会福祉協議会、君津健康福祉センター、医師会、歯科医師会、介護福祉士会、介護支援専門員協議会、薬剤師会、栄養士会、老人福祉士施設連絡協議会、訪問看護ステーション協会、君津圏域PT・OT・ST連絡協議会 イ その他の会議 ア) 地域リハ・パートナー会議 開催回数：年2回開催予定 実施方法：オンラインを予定 参集団体：君津地域リハ・パートナー イ) 意見交換会 ウ) 担当者会議
②地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 当圏域に関連する団体から地域ケア会議、介護予防事業への協力依頼があった場合には、地域リハ・パートナーの派遣を含め、人員調整を行う。
③リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援 ア. 施設向け出張研修 下記ア)～キ)のテーマについて依頼があった場合に研修を行う。尚、実施方法については、新型コロナウイルスの状況を考慮し、対面形式もしくはオンラインにて対応する。

- ア) 腰痛予防体操と環境整備
- イ) 自立を促すリハビリ体操
- ウ) 認知症サポーター養成講座
- エ) 認知症予防体操研修
- オ) すぐに役立つ会話の技術～失語症を中心に～
- カ) 早く気づこう嚥下障害
- キ) 難聴高齢者とのコミュニケーション方法

イ. 小児領域におけるアンケート調査

圏域の小児領域における問題の把握や、今後の連携・活動のあり方について検討することを目的に、圏域の小児デイサービスを対象にアンケート調査を実施する。アンケート結果及び抽出された問題に沿った情報を提供するチラシを作成し配布する。

④研修等の実施を通じた協働促進

ア. 地域リハ・パートナー研修会

地域ケア会議への参加することへの理解を深めること、リハビリ職の参加を促すことを目的に、リハ・パートナー及び地域のPT・OT・ST、養成校の学生を対象としたオンライン研修会を開催する。

イ. 認知症研修会

認知症に関する知識及び理解を深めることを目的に、認知症に関連する職種を対象とした研修会を実施する。尚、実施方法については、新型コロナウイルスの状況を考慮し、対面形式もしくはオンラインにて対応する。

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧
いずれかを記入

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑥) 内容：一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援

市民公開フォーラム

テーマ：「いつまでも元気に暮らし続けよう」

内容：医師講演（骨粗鬆症について 他）、コメディカルによる健康増進や予防に関する催し（薬剤師、歯科医衛生士、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）等

開催方法：新型コロナウイルスの状況を考慮し、対面形式もしくはオンラインにて対応

(⑧) 内容：その他地域リハビリテーションの推進に必要な取り組み

ア. 出前講座

圏域内の小中学校から依頼があった場合に、地域リハビリテーションやリハビリテーションの仕事についての講座を行う。尚、実施方法については、新型コロナウイルスの状況を考慮し、対面形式もしくはオンラインにて対応する。

イ. 災害リハ

有事の際に広域支援センターが行えることを確認する目的に情報収集及び必要に応じて体制を整えていく。

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能・役割が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。

(別記第3号様式)

令和3年度地域リハビリテーション広域支援センター運営事業実施計画書

事業実施期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
圏域	市原 地域リハビリテーション広域支援センター
病院名	白金整形外科病院
重点活動項目	コロナ禍における事業所連携体制の構築 ・Webを活用した事業所間連絡・相談体制の構築 ・ちーき会の定期開催

1 全ての広域支援センターが担うべき機能・役割に関する事業
① 連絡協議会等の開催を通じた連携支援体制の構築 ア 連絡協議会 年1回期末に開催（参集範囲：市内の医療介護福祉事業所） イ その他の会議 ちば・地域リハ・パートナー会議（5月28日） ちーき会 月1回開催 パートナーとの協働（症例リレー紹介、福祉用具紹介）
② 地域包括ケア推進に向けた市町村への事業協力 ・介護予防事業 ・フレイル事業 ・自立支援型地域ケア会議 ・市原在宅医療介護連携推進会議への協力（イベント等） ・市原市民大学
③ リハビリテーション専門職の在籍していない関係機関に対する相談支援 共通：Webツールを用いた事業所間の連絡相談体制の構築 ・保健所への支援 ・地域包括支援センターへの支援 ・市原市認知症対策連絡協議会への支援
④ 研修等の実施を通じた協働促進 各種イベント

2/

(再掲) ちいき会での講習

2 圏域の実情に応じて取り組むべき機能・役割に関する事業

⑤～⑧いずれかを記入

- ⑤地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施
- ⑥一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援
- ⑦資源が少ない領域の支援体制の構築
- ⑧その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

(⑤) 内容：地域診断と圏域課題の分析に基づく先駆的取組の実施

(再掲) ちいき会での地域課題抽出

県支援センター主催研修会への参加

(⑥) 内容：一般住民に対する健康増進・介護予防等の取組支援

タオル体操普及

口腔ケア啓発

(⑦) 内容：資源が少ない領域の支援体制の構築

(再掲) Web ツールを活用した連絡・相談体制の構築

(⑧) 内容：その他地域リハビリテーションの推進に必要な取組

広報活動（ホームページ更新、Web コンテンツ発信）

地域リハビリテーションフォーラムへの参加

研修会参加

その他依頼のあった支援活動への参加

※日時・テーマ・対象等事業内容を具体的に記載すること。

※機能が重複する事業については、「再掲」としそれぞれの欄に記載すること。